



ボランティアセンターだより



松本コンサルタント株式会社 奉仕作業 今年もありがとうございました



暑い中、大変お世話になりました



7月11日(土)、ひらだにこども園の奉仕作業が行われました。保護者と教員だけでは少人数のため、今年も松本コンサルタントの皆さんにご協力いただきました。気温の高い状況でしたが、皆さん汗を流しながら、園庭の草刈りや庭木の剪定をしていただき、作業後は園内がとても美しくなりました。園児たちもより安心して過ごすことができると思います。

9月1日は 防災の日 「もしも」を「いつも」の備えに

【防災の日】は、大正12年(1923年)9月1日に関東大震災が発生したこと、また台風が多い時期であることから制定されました。「災害はいつ起こるかわからない」まずは自宅や地域でできることから始めてみませんか?

①いつもの買い物を防災に!「ローリングストック」

特別な非常食を買い込む必要はありません。普段食べている缶詰、レトルト食品、カップ麺、お水などを「少し多めに買って、古いものから食べ、使った分を買い足す」という習慣をつけましょう。目安は最低3日分(できれば1週間分)。日常の延長で備蓄ができるため、賞味期限切れで無駄にする心配もなし。

★水 … 1人あたり1日3リットル

★食品 … 温めずに食べられるものや、カセットコンロで簡単に調理できるもの



②家族で話し合う!「避難場所と連絡方法」

いざという時、家族がバラバラの場所にいるかもしれません。スマホが繋がりにくくなることも想定して、事前に約束事を作っておきましょう。

★避難場所確認 … 避難場所(命を守るために逃げ込む場所(グラウンド・高台など))や避難所(災害後、自宅に戻れない場合に生活するための場所(体育館など))、ハザードマップなどを一緒に確認

★連絡手段 … 災害用伝言ダイヤル(171)の使い方や、LINEなどのSNSでの安否確認方法を決めておく



③地域みんなで備える!地域の防災訓練に参加してみよう

個人の備えと同じくらい大切なのが、ご近所同士の助け合い(共助)です。災害が発生した直後、消防車や救急車がすぐに来られないケースも少なくありません。そんな時に頼りになるのが、地域の「自主防災会」や自治会です。

★初期消火・救出訓練 … 消火器の使い方や、身の回りのものを使った応急救護を学ぶ

★避難訓練(ルート確認・まち歩き) … 地域の危険な場所や、逆に助けになる場所(消火栓や井戸など)を歩いて確認

顔が見える関係を作っておくこと自体が、最大の防災になります。研修の案内を見かけたら、ぜひご家族やお隣さんを誘って参加してみてください。防災は「100点満点の準備」を目指す必要はありません。できることから少しずつ重ねていくことが、大切な家族と自分自身の命を守る大きな力になります。「防災の日」をきっかけに、ぜひご家庭や地域で声を掛け合ってみてください。

